

会 議 録

会 議 名	令和4年度第2回丸亀市放課後子どもプラン運営委員会
開 催 日 時	令和4年3月8日
開 催 場 所	書面開催
出 席 者	なし
協 議 案 件	<p>(1) 令和3年度丸亀市放課後留守家庭児童会（青い鳥教室）の実施状況について</p> <p>(2) 令和3年度丸亀市放課後子供教室の実施状況について</p> <p>(3) その他</p>
委員	<p>青い鳥教室のニーズは今後も高くなると予想されるが、面積、人材など教室の質の向上を望む。高学年になると、指導者の方から申込みを躊躇するような言葉をまだ言われるという声を聞く。指導者によって対応が違うこともあるそうだ。預けたい親が安心して預けられる対応や雰囲気も大事だと思う。指導員の意識共有をしていただきたい。</p>
事務局	<p>青い鳥教室については、低学年から高学年まで学年を理由に受入れの可否の判断は行っていないため、再度支援員（指導者）に周知する。また、定期的に全体研修を行うことにより支援員の意識共有を行い、質の向上を図っていく。</p>
委員	<p>子供教室に関しては、教室の数を増やすことだけを目的にしているように受け止められる。何のために何をするのかという目的を共有したい。コミュニティセンターで行っている事業を横流しで子供教室と事業名を変えるだけで意味はあるのか。年1回のイベントで子供教室とするのか。コミュニティ協議会の中で、今まで予算付されている事業なのに予算的なすみわけができていいのかといった懸念の声を他のコミュニティから聞いている。事業数を増やすだけでなく、「居場所の取組」として考えることが必要ではないか。</p>
事務局	<p>子供教室については、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかにはぐくまれる環境づくりを推進することを目的としている。そのため、従来のコミュニティセンターの活動と重複する部分があるかと思うが、各教室に対しては、より子供たちの放課後の居場所として機能するよう、再度子供教室の目的を周知していきたい。予算管理については、放課後子供教室として使うもののみ委託料に計上していただ</p>

	いている。今後、事業数を増やす際には、内容等の精査を行い教室を確保していきたい。
--	--